

観光庁の取組

- 1 . 地域の資源を活用した魅力ある観光地域づくり
- 2 . 成田空港周辺における農観連携プロジェクト
- 3 . 地域資源を活用した観光地魅力創造事業
- 4 . 消費税免税制度の拡充・免税店の拡大
- 5 . 酒蔵ツーリズム推進協議会連携プロジェクト
- 6 . 各地域の酒蔵ツーリズム推進組織の設立等状況
- 7 . 酒蔵ツーリズム事例集（第2弾）

【問い合わせ先】

観光庁観光資源課 担当：水口、谷

代 表：03-5253-8111（内線：27-802,27-805）

F A X：03-5253-8930

Email :stpc@mlit.go.jp

地域の資源を活用した魅力ある観光地域づくり

- ①地域の特色ある素材の発掘や地域と旅行会社、交通事業者、旅行メディア等の総力を結集した枠組みによる確実な商品化と情報発信等を行い、魅力ある観光地づくりを推進する(平成24年度補正予算:1,565百万円)
- ②観光地域づくりの取組を進める主体が自ら販路を開拓し、収益をさらなる着地型旅行商品開発に充てることが可能となるビジネスモデルを構築する(平成25年度補正予算:400百万円<繰越>、平成26年度予算:72百万円)

①着地型旅行商品の開発

全国より公募により78地域をモデル地域として選定

1. 資源の発掘

- 観光資源の「目利き」(※)による訴求性の高いコンセプトの設定
- 「地域の担い手」から観光資源の提案



2. 資源の磨き

- 支援対象の選定
- 「目利き」の派遣
- 「地域の担い手」と「目利き」が一体となった資源の磨き



3. 試行ツアー造成

- 試行ツアーを実施し、市場の目を通した効果検証
- 効果検証を踏まえた商品内容の改善
- 商品化への絞り込み



※観光資源の「目利き」: 旅行会社のバイヤー、旅行メディア、地域活性化プランナー 等

確実な商品化

観光資源の磨き上げ、試行ツアーによる効果検証を踏まえた観光資源の確実な商品化

地域の魅力の全国発信

本事業で磨き上げた観光資源と地域の魅力を商談会の開催等により全国に発信

- 食のメニュー開発
- お土産開発
- 宿泊施設の確保
- 体験プログラム開発
- ガイド養成
- 旅行商品造成

等

②ビジネスモデルの構築

①から、さらに厳選した45地域をモデル地域として選定

ポータルサイトの開設・商談会の機会提供

- 地域の取組を発信するポータルサイトを開設
- 旅行会社等との商談会の機会を提供。

※商談会の際に本事業における取組が特に顕著な地域に対して表彰式を行う



- ・全国の消費者への情報発信
- ・地域間でのノウハウの共有
- ・メディア・一般の消費者等からの反応を地域にフィードバックし、地域間競争を促進。

研修機会の提供

- 観光地づくりの担い手を集めた研修機会の提供
- マーケティング手法等の実学を含めた講習を実施



- 観光地ビジネスの専門家の派遣
- ビジネス化にあたっての問題・課題の整理
- 観光地の担い手と専門家による勉強会・商談会の開催

等

地域の資源を活用した魅力ある観光地域づくりの“酒蔵ツーリズム”に関連する取組例

	取組名	対象地域	お酒・酒蔵等の活用方法	① H24補正	② H25補正 H26
1	地元「和酒女子」と行く、豊かな水の恵みがもたらす「美」と「癒し」体験ツアー	青森県 十和田市	豊かな水の恵みを使って酒造りを行っている本地域において、「日本酒」に関心のある若い女性をターゲットとして、「美」と「癒し」をテーマに、地元のおもてなしを感じることでできる交流、食、温泉、アクティビティを盛り込むことにより、単に酒蔵や観光地を訪問するだけではなく、地元の人と訪れた人が交流する機会を作ることを目指す取組。 地元の日本酒好きの女性グループ「和酒女子」のメンバーの案内により、酒蔵見学に加え、酒粕ハンドバック体験や酒粕ケーキ試食も盛り込んだモニターツアーを実施。	○	
2	旅館とワイナリー若旦那がご案内！ワインの似合う大人のまちプロジェクト	山形県 南陽市	温泉郷の中にワイナリーがあるという特徴を活かし、地元温泉の旅館組合とワイン組合の若手がタッグを組み、首都圏をターゲットに、赤湯温泉とワインの魅力を知ってもらうことを目指す取組。 ワイン付き女子をターゲットに、温泉とワイナリー巡りに加え、ブドウ畑や散策やワインに合う食事なども盛り込んだモニターツアーを実施。	○	○
3	飛騨の地酒をまるごと満喫！～地酒で日本のふるさとを巡る旅～	岐阜県 高山市、飛騨市、下呂市、白川市	飛騨地域の文化に深く根付いている地酒を味わうだけでなく、酒米の生産から収穫、加工、保存技術を視て、聴いて、嗅いで、触れることで地酒をまるごと満喫できるツアーを提案する取組。 地酒チケットによる飲み歩き、地元ガイドによる高山散策、飛騨高山温泉などを盛り込んだモニターツアーを実施。	○	
4	知多半島 食と日本酒によるブランド化事業	愛知県 半田市、常滑市、知多市、東浦町、阿久比町、武豊町	地元の食と酒を組み合わせ、それぞれ歴史を感じさせるロケーションの中で「食と酒の知多半島」のイメージをアピールし、地域資源を活かしきることによって知多半島のイメージのブランド化を目指す取組。 蔵元と杜氏が語る日本酒講座や、和食マナー等のヤマトナデシコ講座、醸造文化の発信地巡りなど様々なテーマのモニターツアーを実施。	○	○
5	広域連携と地域ネットワークづくりによる京都南部域の新たな賑わい創出 京都伏見・宇治「悠久の時 酒茶づけの旅」	京都府 京都市伏見区、宇治市	伏見と宇治という独自の文化を形成しながら時を重ねてきた地域において、日本酒や日本茶という地場産業を織り交ぜ、この地域でしか体験できない「ほんまもんリアル」を体験できる大人の旅を目指す取組。 伏見の酒蔵見学、宇治茶店に加え、世界遺産である宇治上神社、酒蔵を改装したお店での食事などを盛り込んだ、女子限定のモニターツアーを実施。	○	

地域の資源を活用した魅力ある観光地域づくりの“酒蔵ツーリズム”に関連する取組例

	取組名	対象地域	お酒・酒蔵等の活用方法	① H24補正	② H25補正 H26
6	はりま酒文化ツーリズム推進事業	兵庫県 播磨地域12 市9町	この地域に点在している個性的な「酒蔵」やこの地が生誕地である「山田錦の田んぼ」などの地域資源を巡る周遊コースを造成することで滞在者の増加を図る取組。酒蔵同志の関係性を深め、ネットワークを構築し、その連携を強化することで、取組の実施が継続的に続くことを目指す。 交通の便が悪くて普段なかなか行けないような酒蔵を気軽に回れるようバスツアーを開発し、酒蔵での新酒の仕込みやしぼりの見学、山田錦の田んぼ見学、地域の食等で構成されるモニターツアーを実施。	○	
7	酒蔵を巡り、蔵人と触れ合い、彼の作る酒を味わう旅「鹿島酒蔵ツーリズム」	佐賀県 鹿島市	酒をテーマに、「IWC2011チャンピオンサケ」を受賞した酒蔵も含めた最高の品質を誇る酒蔵を巡り、酒が生まれた土地を散策しながら食や文化、歴史を感じることでできる旅のスタイルを確立する取組。 市内の酒蔵巡りに加え、祐徳稲荷神社(日本三大稲荷)の参道散策(権宮司の案内付)、地元旅館での有明料理と鹿島の酒のもてなし等で構成されるモニターツアーを実施。	○	
8	富田林市寺内町および周辺地域における観光ビジネス創出事業	大阪府富田 林市寺内町 及び周辺農 村	「楽食楽まちじないまち」のイベントや、モニターツアーで造成した新たなプログラムに、既に地域で行っている「寺内町四季物語」や「じないまち散歩」等の活動と連携したプログラム開発や、周辺の農家や大阪ワイナリー、宿泊施設との連携により、観光プログラムのラインナップの幅を広げて展開。ツアー内において、「万里春酒造」元酒蔵で利き酒を体験。	○	○
9	恋と黄金 旅物語(ツアービジネスプラットフォーム事業)	志賀島、シー サイドももち、 ももち浜、唐 人町、糸島、 久留米	欧州で日本への関心が高い「生活文化・匠の技・食」を体験する高品質な旅行を造成。「杜の蔵」酒蔵見学、日本酒講座試飲会やお酒と寿司のマッチングなどを展開	○	○

○成田空港周辺における農観連携プロジェクト

成田空港周辺における農観連携プロジェクト検討会

日本の玄関口である成田空港周辺地域をモデル地域として、成田空港利用客を含む国内外の観光交流を加味し、農産品等の試食・販売の拡大、農村地域との交流拡大及び観光振興につながる方策を検討する。

○取組概要・成果

農観連携周遊プログラムワークショップの開催

- ・成田空港周辺地域における農業を観光資源とした周遊プログラムの造成を図る。
- ・また、外国人にも対応するため、外国人目利きをメンバーに入れ検討する。



Step 1

トランジット客(国際線乗継客)をターゲットとした短時間で利用できる農観連携周遊プログラムを造成

1 資源の掘り起こし・評価・磨き上げ

○「外国人目利き」により評価

- ・熱田農園:イチゴ狩り
- ・滝沢本店:酒蔵見学、酒試飲
- ・房総のむら:芋掘り、煎餅焼き、
畳のコースター作り

○評価をもとに資源を磨く

- ・説明書(イチゴ狩り)の作成
- ・パンフレットの作成 など



2 プログラムの造成・催行

○成田山新勝寺

+ 酒蔵見学(滝沢本店)

- ・平成27年3月1日より酒蔵
ツーリズムも含めたトランジット
プログラムを催行

Step 2

○今後の取組内容・課題

- ・ターゲットを旅行者全体に広げ、長時間周遊が可能な農観連携周遊プログラムの造成
- ・成田空港等における農産品等の販売促進手法の検討

観光庁関係予算総括表

(単位:百万円)

	27年度 予算額 (A)	26年度 予算額 (B)	倍率 (A/B)	26補正+ 27当初 (C)	倍率 (C/B)
1. 訪日2000万人時代に向けたインバウンド政策の推進	8,451	8,497	0.99	12,417	1.46
訪日旅行促進事業(ビジット・ジャパン事業)	1,297	6,106	} 0.95	1,297	} 1.35
国際会議等(MICE)の誘致・開催の促進	190	450			
日本政府観光局(JNTO)運営費交付金	6,542	1,912			
広域観光周遊ルート形成促進事業	304	0	皆増	554	皆増
ICTを活用した訪日外国人観光動態調査	100	0	皆増	100	皆増
通訳ガイド制度の充実・強化	20	19	1.06	20	1.06
地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業	0	0	-	300	皆増
前年度限り	0	11	皆減	0	皆減
2. 観光地域づくり支援	628	522	1.20	748	1.43
地域資源を活用した観光地魅力創造事業	290	0	皆増	290	皆増
観光地域ブランド確立支援事業	257	274	0.94	257	0.94
観光地ビジネス創出の総合支援	44	72	0.61	44	0.61
観光地域動向調査事業	38	39	0.96	38	0.96
地域観光振興緊急対策事業(「ふるさと休日」促進等)	0	0	-	120	皆増
前年度限り	0	136	皆減	0	皆減
3. 観光産業振興	62	60	1.03	122	2.02
ユニバーサルツーリズム促進事業	35	37	0.96	35	0.96
旅館の経営改善・情報発信促進事業	27	0	皆増	27	皆増
地域観光振興緊急対策事業(人材育成等)	0	0	-	60	皆増
前年度限り	0	24	皆減	0	皆減
4. 観光統計の整備	460	429	1.07	560	1.30
5. その他(経常事務費等)	309	302	1.02	309	1.02
合 計	9,910	9,811	1.01	14,156	1.44

復興枠

東北地域観光復興対策事業	106	175	0.61	106	0.61
福島県における観光関連復興支援事業	374	374	1.00	374	1.00
合 計	480	548	0.88	480	0.88
総 計	10,390	10,359	1.00	14,636	1.41

地域の観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げるため、歴史的景観、美しい自然、海洋資源、豊かな農山漁村、魅力ある食文化等の観光資源を活かした地域づくり施策と、体制づくり、受入環境整備、二次交通の充実等の観光振興のための施策を一体で実施する。

様々な地域づくりの取組と連携し、地域の観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げるとともに、外国人の受入環境整備を実施。

歴史的景観とバリアフリーの相乗効果による観光振興

日本最北の世界自然遺産で観光と保護の両立

離島のハンデを克服した観光システムづくり

「農」の優位性を活かした産業と観光の融合

地産から地消までを観光客とともに創りあげる地域

産業遺産を核とした広域連携での観光振興

等

観光関係者による取組

協議会：市町村、観光協会、交通事業者、関係行政機関その他地域づくりの取組を実施する者等により構成

→ 計画の策定（数値目標、取組体制、事業内容等）

マーケティングの実施

地域の魅力を高める取組の実施

①滞在コンテンツの充実・強化

- ・着地型旅行商品の造成・販売
- ・地産地消の推進
- ・ガイドの育成

②来訪需要の喚起

- ・一元的な情報発信／予約システムの構築
- ・宿泊施設の魅力向上
- ・地域版MICEの推進検討

③来訪者の利便性等向上

- ・観光案内所の機能強化
- ・観光地周遊バスの実証運行
- ・美観の維持、トイレ改修

④外国人受入環境整備

- ・観光案内の多言語表記化
- ・Wi-Fi環境の整備
- ・免税店の導入検討

等

国による支援

- 計画策定に係る費用
 - マーケティング費用
 - 着地型旅行商品等の滞在コンテンツの企画・作成費用
 - 二次交通の整備に係る実証実験等の実施費用
 - 受入環境整備、おもてなしの向上に係る費用
- 等

パッケージ支援

〈観光による活性化事例（埼玉県川越市）〉



〔歴史的景観〕



〔多言語表記案内板〕



〔外国人も含めた賑わい〕

歴史的景観を活かしつつ、滞在コンテンツの充実・外国人受入環境の整備等を総合的に実施

川越市外国人入込観光客数
H25年 45,000人
H19年 31,000人
（川越市HP「観光統計資料」より）
⇒ 平成19年比45%増

取組の評価を踏まえた計画の見直し

地方における消費税免税店の拡大について

外国人旅行者による地方での旅行消費を拡大し、地域経済の活性化を図るため、商店街、物産センターなど地方の外国人旅行者向け免税店の拡大を推進。

※全国の免税店数：平成26年4月1日 5777店 → 平成26年10月1日 9,361店。半年間で 3,584店増加。

消費税免税制度の拡充

〈拡充第1弾〉（2014年10月1日運用開始）

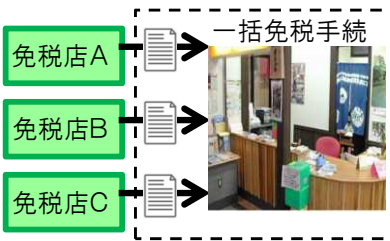
- ・ 全ての品目が消費税免税の対象となり、地方の名産品にも対象が拡大。（対象金額：消耗品5千円超～50万円）



[平成27年度税制改正の大綱（平成27年1月14日閣議決定）]

〈拡充第2弾〉（2015年4月1日運用開始予定）

- ・ 免税手続きの第三者への委託を可能とし、商店街や物産センター等において、免税手続きの一括カウンターの設置を実現。
- ・ 外航クルーズ船の寄港時に埠頭に臨時出店する仮設店舗の免税許可申請を簡素化する。



シンボルマーク制度、相談対応制度の活用

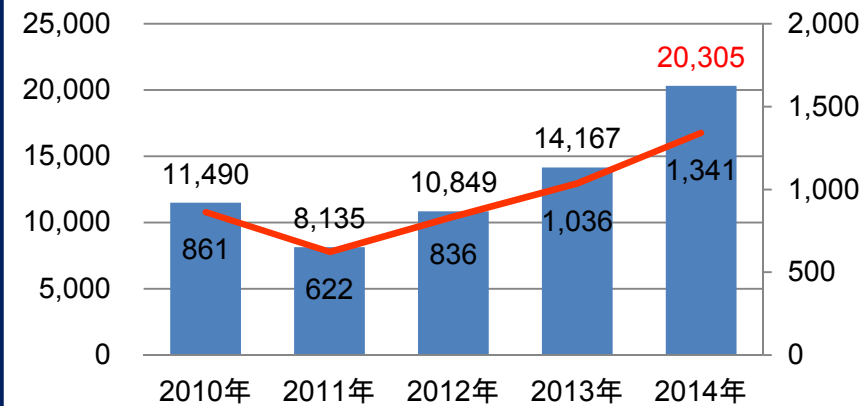
- ・ 地方運輸局に設置した免税制度相談窓口を周知・活用。
- ・ 免税店のブランド化・認知度向上のために創設した「免税店シンボルマーク」の使用申請にあわせて免税店の「活きた情報」を取得しJNTOのHPで海外向け情報発信。

ショッピングの魅力を官民連携して海外に発信

- ・ 地方ならではの魅力あるお土産や新しい消費税免税制度の情報を、観光庁やJNTO、百貨店、航空会社、旅行会社、クレジットカード会社等官民が連携して発信。

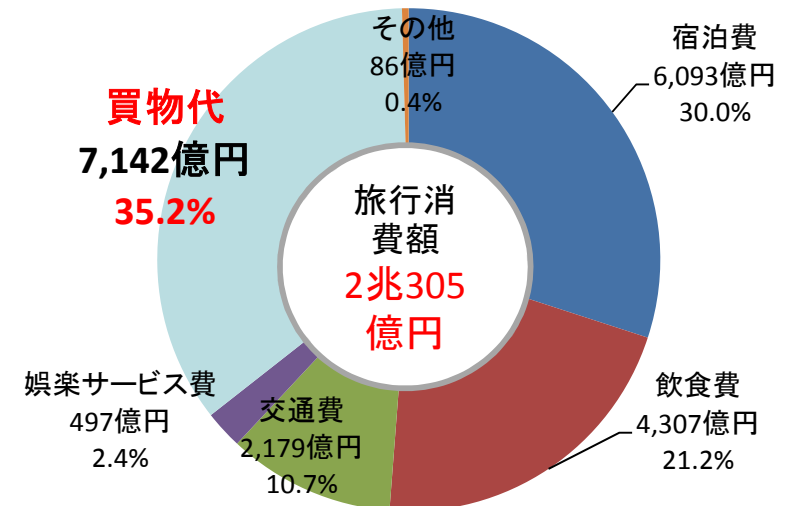


【旅行消費額と訪日外客数の推移】



■ 旅行消費額(億円)・左目盛 ■ 訪日外客数(万人)・右目盛

【訪日外国人の費目別旅行消費額(2014年)】



酒蔵ツーリズム推進協議会連携プロジェクト選定について

酒蔵ツーリズム推進協議会連携プロジェクトには以下の18件が選定されております。

【H25.7開始、第2回協議会（H25.12）時点：11件】

※募集要領抜粋

(選定方法及び選定要件)

第4 選定にあたっては、協議会メンバーの意見も踏まえつつ、次の各号に示すすべての要件に該当するものは、基本的に選定することとする。

- 一 実施内容・実施時期が具体的になっているものであること
- 二 民間事業者自らの個別の商品（お酒、旅行商品等）の販売、広告を行うものではないこと
- 三 他者が同様の事業を実施している場合、これら民間事業者同士の公正な競争の妨げにならないこと
- 四 一定程度以上の効果が見込めるもの

事業者名	株式会社アンカーマン
取組名	インバウンド向け酒蔵ツアー「SAKE TOURISM」
内容	<p>増加する訪日客を対象に、インバウンド向け酒蔵ツアー「SAKE TOURISM」を運営しています。浅草を中心とする複数の宿泊施設とタイアップすることで、東京に滞在するインバウンド客へダイレクトなアプローチを実現しています。参加者へは、日本文化の1つとしての酒造りを間近で体験いただくことで、付加価値の高いユーザー体験を提供しています。一方で蔵元へは、当社が言語や交通アクセスのハードルをカバーし、安定的に送客することで、日本酒のセールス・プロモーションを行なっています。</p> <p>さらに今後は、訪問した蔵元の写真やクチコミがウェブ上で拡散し、持続的なプロモーションと拡販が実現できるようなモデルを構築してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none">・ http://anchorman-inc.tokyo/・ https://www.facebook.com/anchorman0527

事業者名	株式会社BEFOOL
取組名	日本酒擬人化ゲーム開発
内容	<p>App Store、Google play で日本酒を擬人化したゲームの開発を行い、キャラクターを通して100種類以上の日本酒銘柄を世界中に広める取り組み。</p> <p>アニメ、日本酒のファン層の双方において意外性、インパクトを与える事でメディアやSNS等で話題になりやすく、関連グッズの販売、アニメ化等、様々な展開が可能。</p> <p>各酒蔵様毎に別々の限定コンテンツがダウンロード出来る、シリアルコードの入ったカードを配布する事で酒蔵ツーリズムへ繋がる。</p>

事業者名	シーエムワン株式会社
取組名	あなたと酒をつなぐ SAKE メディア「酒蔵プレス」
内容	<p>「美味しい日本酒で、みんなを笑顔にするプロジェクト (Smile SAKE Projects)」を立上げております。その一環として、酒蔵プレスを運営しています。</p> <p>酒蔵プレスは、映像と SNS を高度に活用して、酒蔵とお酒、肴、酒器、酒イベント等の最新情報を日本酒ファンに発信しています。</p> <p>蔵元とお酒、日本酒ファンに接する機会が多く、造り手や酒蔵ツーリズムの魅力を映像で発信していくことで酒蔵ツーリズムの PR に貢献し、国内・世界に日本酒・酒蔵の楽しみ方、日本酒文化を広めていきたいと考えています。</p> <p>http://www.facebook.com/sakebrewery/ http://www.sakebrewery.com/</p>

事業者名	三宅（上海）商務情報諮詢有限公司
取組名	S A K E で日本と世界をつなぐ OneTank プロジェクト
内容	<p>SAKE で日本と世界をつなぐ One T a n k プロジェクトでは SAKE コミュニティ『清酒匯 SAKE as One 』を東京、上海の二都市で定期的で開催しています。清酒匯 SAKE as One とは SAKE で一つにという意味です。SAKE を囲み、日本と世界がつながるについて語り合える場を提供していき、コミュニティメンバーを増やしていきます。上海では既に会員は 1000 名を越え、2014 年東京に逆進出しました。外国人、日本人で構成されるコミュニティメンバーでの日本各地の蔵元ツアー、コミュニティパーティ内での各都道府県、蔵元の紹介を通じ、S A K E を世界各地の人に PR することができる、日本酒の国際化を考えることができるプロジェクトです。</p> <p>https://www.facebook.com/onetankproject （東京） https://www.facebook.com/79hui （上海）</p>

事業者名	J B A （全国地ビール醸造者協議会）
取組名	J B A ブルワリーツアー
内容	<p>平成 16 年から、全国の複数の地域で、「ブルワリーツアー」を企画してきました。地域内複数の地ビール醸造所をめぐるツアーです。訪問先では、醸造責任者による解説と製造工程の見学、こだわりのビール試飲をお楽しみいただけます。移動は貸切バスを利用し、参加者の利便性向上を図っております。今後も全国でツアーを計画しております。</p> <p>その他、「J B A 全国地ビールマップ」作成、「地ビールまつり」開催など地ビールのプロモーション活動を行ない、全国各地の地ビール情報を発信しています。</p> <p>・ブルワリーツアーについてはこちら↓ http://www.beer.gr.jp/news/tour/</p>

事業者名	株式会社リカープラザ
取組名	酒蔵見学と地域観光ツアー
内容	<p>地域の食・歴史などの観光資源とお酒を組み合わせたツアーを企画します。また「日本酒学講師会」と連携し、日本酒学講師をガイドとして活用し、お酒の知識・魅力を伝えるツアーを企画します。実績として、千葉県を中心にツアーを企画してきました（「香取神宮参拝と神崎&佐原の蔵元見学と佐原観光ツアー&佐原の鰻を楽しむ!」「富津で伝統の海苔づくり体験と富津の酒蔵見学&郷土料理はかりめ井を楽しむ!」「勝浦雛祭りとお酒見学と御宿で海の幸を楽しむ!」など）。</p> <p>今後、旅行会社と連携し他の地域への展開、ツアー実施を計画中です。</p>

事業者名	株式会社千葉交タクシー
取組名	酒蔵めぐり観光タクシー
内容	<p>成田国際空港・空港周辺ホテル・成田駅を発地とし、成田市近郊の酒蔵を中心に、酒蔵見学や試飲などをしながら周辺の観光スポットをめぐる観光タクシーです。成田の滝沢本店や神崎の鍋店神崎酒造、酒々井の飯沼本家、佐原の東薫酒造・馬場本店酒造と観光スポットを組み合わせて、4時間～6時間で巡るコースを設定し運行します。さらに、英語での対応可能なドライバーもいるため、訪日外国人の方にもご利用いただけます。</p> <p>成田市は国内外の観光客が訪れる町として知られており、近年地方の様々な地酒を見かけるようになってきた中で、成田市周辺の歴史ある地酒についても、より多くの人に知っていただきながら、地域の活性化を図ります。</p>

事業者名	株式会社パラダイスインターナショナル
取組名	韓国の人気ブログ等を活用した日本酒の情報発信
内容	<p>日本酒に関連する多くの情報(最新のトレンドや 이슈をまじえ興味をそそる内容)を韓国の一般の方々を対象に長期的かつ持続的に人気ブログを通じて発信し、日本酒の潜在顧客造成を図ります。さらに、韓国に駐在している日本の各自治体とも連携し、日本酒を主テーマに日本各地域の文化と自然等を楽しむツアーを企画・造成することにより、韓国から日本へのインバウンド振興につなげます。</p> <p>・ http://blog.naver.com/paradise_tnl</p>

事業者名	株式会社交通新聞社
取組名	鉄道・旅行情報ウェブサイト「トレたび」の連載特集「全国美酒の旅」で、国内産酒の魅力を発信
内容	<p>JRグループ旅客6社協力の鉄道・旅行をテーマにした唯一のウェブサイト「トレたび」を通じて、「酒&列車旅」を切り口に、月間平均約33万人の訪問者に向けて、日本酒・焼酎、ビール、ワイン等を主テーマに、お酒の魅力と日本各地の豊かな自然の恵み、ご当地の食や周辺観光等をあわせて紹介します。さらに、関連する旅行商品の提供も行います。</p> <p>・http://www.toretabi.jp/gourmet/bishu201306/01.html</p>

事業者名	F J S o l u t i o n s 株式会社
取組名	S i n a W e i b o を活用した情報発信
内容	<p>酒蔵ツーリズムに係る全国各地の取り組みやイベント情報、酒蔵ツーリズム推進協議会に係る関係資料や取り組み状況等について、S i n a W e i b o（新浪微博＝中国最大のSNS、会員数5億超）を通じ情報発信を行い、酒蔵ツーリズムの魅力を中華圏（中国本土、台湾、香港、シンガポール等）にPRします。一般中国人ユーザーも含めた双方向の情報交換の場としての活用や酒蔵ツーリズムに係るアンケートの実施など、マーケティングツールとしても活用します。さらに、来日する潜在・顕在顧客への事前アプローチ、来日の際の来店や商品購入機会を作ることにより、日本へのインバウンド振興につなげます。</p> <p>・アカウント名：日本酒窖巡礼（予定）</p> <p>・http://weibo.com/</p>

事業者名	「宮崎・焼酎観光ルート実行委員会」参画企業7社
取組名	“酒造メーカー” × “北郷温泉旅館組合” コラボレーション旅企画「宮崎の魅力である焼酎を守る杜氏の皆様と旅人との絆をつくる感動の旅」
内容	<p>福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿児島・宮崎からの個人旅行のお客様を対象に、お客様の希望する焼酎メーカーの工場や蔵見学を巡りながら、森林セラピー基地のある北郷温泉にご宿泊頂く、旅館・ホテル&焼酎メーカーとコラボした1泊2日のオンリーワンの旅を提案します。</p> <p>今後、県内の酒造メーカーとの様々な試みを行い、新たな宮崎の観光創造につなげたいと考えています。</p>

事業者名	成田国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、中部国際空港(株)、新関西国際空港(株)
取組名	ニッポンを飲もう！「日本の酒キャンペーン」
内容	空港の免税エリア内でブースを設置し、訪日外国人を対象に、日本のお酒(日本酒・焼酎)の試飲によるPRを4つの国際空港が一斉に実施します。各空港のキャンペーンブースでは時期によって扱うお酒の銘柄を替えたり、酒蔵関係者が実際にキャンペーンブースに立ちPRします。そのほか、お酒の製法や飲み方等のお酒の文化や外国人が見学可能な酒蔵情報等を紹介し、訪日外国人に酒蔵についての関心を持ってもらい、インバウンド向けの酒蔵ツーリズムの促進を図ります。

事業者名	株式会社アサソーディ・ケイ
取組名	WEB／Facebookを活用した情報発信
内容	酒蔵ツーリズムに係る全国各地の取り組みやイベントなどの情報や酒蔵ツーリズム推進協議会に係る関係資料などの取り組み状況について、Web ページ及び Facebook を通じた情報発信を行い、酒蔵ツーリズムの魅力を国内外にPRします。 今後さらに、一般の方々も含めた双方向の情報交換の場としても活用できるよう、検討を進めていく予定です。 ・ http://sakeworld.co.jp/tourism.html ・ https://ja-jp.facebook.com/sakesamurai

事業者名	株式会社JTB北海道
取組名	ちょっと大人のスタンプラリー「パ酒ポート」
内容	北海道広域道産酒協議会(事務局：JTB北海道)では、北海道産酒の活性化とこれらを活用した酒蔵ツーリズムの振興を目的に『パ酒ポート』というスタンプラリー帳を発行しています。参加酒造所は、本来競合先である日本酒、ワイン、地ビール、ウイスキーといった各分野から23社にわたっています。参加者に北海道産のお酒についてより理解を深めて頂くのみならず、より一層愛して頂くためにオール北海道で取り組んでいます。 このパ酒ポートを提示すると、酒造所はもちろん、温泉旅館、ガソリンスタンド、観光施設、飲食店等でも特典が受けられることとなっており、お酒をキーワードに周遊滞在を促すとともに、地域活性化につなげることも目指しています。 また現在、同様の取り組みを北海道以外の他の地域にも広げられるよう、検討を進めております。

事業者名	株式会社ティー・ゲート
取組名	「聖地巡盃の旅 プロジェクト」(神と酒に出会う旅)
内容	<p>古くからその土地に根付き、土地に住む人々を見守り支えてきた「神社」と、古来から神社と深い結びつきを持つ「日本酒」。このふたつをキーワードに、日本人のココロの“ふるさと”に触れる旅を企画します。具体的には、全国各地の神社と、その土地にゆかりのある「酒蔵」を訪れ、土地の自然・歴史・生活文化に触れていきます。もちろん夜は、蔵出しの銘酒と、そのお酒にぴったり合う地元のおいしい料理を味わうことができます。</p> <p>今後、全国にある約8万社の「神社」と1,200場あまりの「酒蔵」を通し、広く深い日本の良さを識り、体験し、手にする、そんな「聖地巡盃の旅」を紹介して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SEICHI-JUNPAI http://www.seichi-junpai.jp/ ・ 旅の発見「ココタビ/聖地巡盃の旅」 http://kokoro.tabihatsu.jp/special/junpai/index.html

事業者名	株式会社 trippiece
取組名	みんなで酒蔵に行こう！行きたい旅の企画を支援
内容	<p>みんなで旅をつくる web サービス“trippiece<トリピース>”上に法人アカウントを開設し、各自治体や蔵元などが酒蔵に行きたくなるような情報発信ができる仕組みを新たに構築します。これにより、お酒や酒蔵に興味がある人たちが集まり、話し合いながら、一緒に旅の計画を立てやすくなります。なお、旅行のツアー化は旅行会社が実施します。</p> <p>さらに、旅行中の写真のシェアや旅行後のコミュニケーションが口コミとなり、持続的に旅が成立するようになるモデルを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ http://trippiece.com

事業者名	新潟日報社
取組名	新潟県産の酒類の振興に向けた取り組みとの連携
内容	<p>酒どころ新潟県の新聞社として、地元の各種団体や酒蔵・協議体などとも連携しつつ、紙面での情報発信等を通じて、新潟県産の酒類の振興、PR、消費拡大を応援していきます。</p>

事業者名	株式会社旅行読売出版社
取組名	旅の専門雑誌で日本の酒の魅力を発信
内 容	<p>月刊「旅行読売」の読者は、知的探究心が旺盛で行動的なシニア層がメインターゲットです。このシニア層に対して、日本酒や焼酎はもちろん、ワイン、ウイスキーなどの酒蔵見学をはじめ、酒とあう地元の料理などを紹介して、“旅”の中での酒の魅力を随時誌面で紹介します。</p> <p>また、酒蔵周辺の魅力的な温泉や観光地、伝統的な工芸品などの観光情報も織り交ぜ、地域振興につながる情報発信に取り組みます。</p>

全国に広がる酒蔵ツーリズム推進組織（平成27年2月現在）

- 平成25年3月に酒蔵ツーリズムを推進する全国組織の発足後、各地域においても酒造業者と自治体、観光協会等が連携して、酒蔵ツーリズム推進の協議会等が設立されている。
- 地域に存する他の観光資源とストーリー性をもって連携を進め、自らの地域の魅力を広く発信している。

11団体(観光庁調べ)

酒蔵ツーリズム推進協議会

(平成25年3月設立)

兵庫県 西宮市

西宮日本酒振興連絡会
(平成25年5月設立)

兵庫県 西播磨

西播磨ツーリズム振興協議会
(平成26年度より酒蔵ツーリズム事業開始)

佐賀県 鹿島市

鹿島酒蔵ツーリズム協議会
(平成23年9月設立)

京都府 北部7市町

海の京都観光推進協議会
(平成26年度より酒蔵ツーリズム事業開始)

北海道 後志

しりべし「酒と肴」をテーマとした
広域観光推進協議会
(平成25年3月設立)

栃木県

栃木県酒蔵酔って見つけ協議会
(平成25年5月設立)

群馬県 利根沼田地域

利根沼田酒蔵ツーリズム連絡協議会
(平成25年7月設立)

埼玉県

埼玉の酒めぐり推進協議会
(平成26年7月設立)

広島県 東広島市

東広島市酒蔵ツーリズム推進連絡会
(平成25年7月設立)

中部・北陸9県 昇龍道プロジェクト

昇龍道銘酒街道推進協議会
(平成26年10月設立)

岐阜県 高山市

飛騨地酒ツーリズム協議会
(平成25年2月設立)

